



「森のつどい」のフリースローコーナーで、ボールの行方を見守る子どもたち

# 九じろうの取材日記

## サンセット・アマチュアジャズフェスティバル



9月28日、「サンセット・アマチュアジャズフェスティバル」がハウステンボスで開催されました。昨年まで千景公園などで毎年開催されていた「サンセット99ライブ・サセボ」が、こじしは「サンセット・ジャズフェスティバルINハウステンボス」として開催されるのを前に、同フェスティバルを盛り上げようと企画されました。

市内外のバンドが熱のこもった演奏を披露

会場となった帆船デリーフデ前



の野外ステージでは、熱のこもった演奏が披露されました。参加したのは、LOVERZ・LIGHT（写真右上）、4人のコーラスを披露したピースワールド（写真右下）、佐世保で23年間活動している佐世保オールスターズビッグバンド、長崎大学の音楽サークルで活動しているCanBeT wo（写真上）など、市内外のアマチュア（素人）バンド計6組です。観客は、ステージ前に座って演奏に聴き入りたり、飲食店の屋外テーブルで飲食を取りながらリラククスして聴いたりして、秋晴れの空の下、思い思いに演奏を楽しんでいました。



佐世保オールスターズビッグバンド（右から2人目が落さん）

ハウステンボスでの演奏は気持ちよかったです。佐世保オールスターズビッグバンドでトランペットを担当している落さん（53歳）にお話を聞きました。「全部で10人のメンバーが8人しかそろわず、本来の形で演奏ができず残念でしたが、今回のハウステンボスの会場は雰囲気素晴らしく、とても気持ちよく演奏できました。」

PUBLIC RELATIONS SASEBO

広報 No.636

# させぼ



広報させぼ 編集長「キューちゃん」

## 特集 地域と交流、地域が支援「通学合宿」 2~5p

今月の主な内容

秋の火災予防運動、佐世保市史発刊など	6~9p
市民の広場	10~11p
施設だより、イベント	12~13p
歴史散歩、カレンダー、テレホンガイド	22~23p
九じろうの取材日記	24p



### 編集長から「一言」

通学合宿でカメラを抱え、子どもたちに張り付き取材していた私に「おばちゃんも一緒に泊まってくれませんか？」と誘ってくれたのは女の子。一方「おばちゃんも一緒に風呂に入ると？」と不安な顔で尋ねたのは男の子。どちらの期待にも添えなくて残念。(A)

佐世保オールスターズビッグバンドは、昭和55年に結成。その後、多少メンバーチェンジはあったものの現在まで活動を続けています。現メンバーの年齢層は、30歳代から50歳代までで、職業は自営業や公務員などさまざまです。「カウント・ベイシーやデューク・エリントンなどの曲を演奏しています。定期的に演奏を披露する機会はないので、声を掛けていただければどこへでも演奏に出掛けます」と落さん。ハウステンボスについて尋ねると、「今回の出演は、少しでも役に立てるのであればと喜んで参加しました。ハウステンボスは、雰囲気が好きでよく来ています。再建に向けて頑張っ欲しいと思います」と話しました。



広報 させぼ